

鹿児島県

男女共同参画センター だより

性別にかかわらず 一人ひとりが尊重され 個性と能力が発揮される社会をめざして



特集

子どもの頃からの男女共同参画

女性がいきいきと働くことができる鹿児島を目指して

相談室から

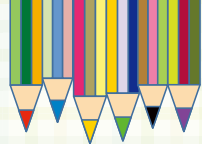
センター事業から

2019年度センター事業予定

グループ紹介

2019.3 ▲▲

vol.36



子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業

県では、男女共同参画社会の実現を目指して、今年度から「第3次鹿児島県男女共同参画基本計画」(計画期間:平成30~34年度)に基づき、様々な施策に取り組んでいます。中でも第2次計画に引き続き「戦略的取組」の1番目に「子どもの頃からの男女共同参画の理解を深めるための教育現場における取組」を掲げ、各種事業を展開しています。

その取組の一つとして、ワークショップデザイナーの高崎 恵さんをコーディネーターに「子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業」を実施しています。



事業の概要

目的

最も身近な「性別に係る人権」を基に、人権を自分のこととして捉える体験を通して、人権感覚を身につけ、自分も他者も大切にできる子どもを育むとともに、家庭や地域の方々と連携しながら、地域全体の人権意識や男女平等意識の醸成を図ります。

そのため、本事業は、児童・生徒対象のワークショップ、教職員対象のセミナー、保護者・地域の方々対象のワークショップの3つを一体で実施します。

内容

- ①児童・生徒を対象としたワークショップ
自尊感情の育成と良好な人間関係づくりのためのワークショップを実施します。(下記「子どもたち/保護者&地域の方々へのワークショップ」参照)
- ②教職員を対象としたセミナー
本ワークショップの目的やそのデザインについて、また人権や男女共同参画の学びをワークショップで実施する意義等について理解を深めます。
- ③保護者・地域の方々を対象としたワークショップ
子どもたちを育む学校・家庭・地域が一体となって取り組むために、子どもたちと同様のワークショップを実施します。



実施状況

平成25年度にスタートした本事業。6年が経過し、今では実施可能校の2倍を超える応募があります。男女共同参画についての学びが教育現場で大事にされてきた現れと嬉しく思っています。平成31年度分は4月に募集します。たくさんのお申込みをお待ちしています。

実施校	小学校	43校	参加者	児童・生徒	6,369人
	中学校	17校		教職員	1,092人
	小・中併設校	2校		保護者・地域住民	1,614人
	計	62校		計	9,075人
少なくとも1校は本事業を実施した市町村数				31市町村	



子どもたち/保護者&地域の方々のワークショップ

それぞれの「ちがいを認め合い、「自分も他者も大切な一人ひとりなんだ」、「性別に関わりなく一人ひとりに個性があるんだ」ということを実感してもらうワークショップです。「違うことは、すぐまちがいはつながらなくて、素敵なこと、楽しいことなんだ」というメッセージが子どもたち、それを見守る保護者・地域の方々に確かに届いています。

プログラム

アイスブレイク

自分の利き手ではない方の手で自分の名前を書いて、お隣同士で感想を話し合いました。初めてのこと、慣れていないことは、誰にとっても難しいことを実感しました!



ドキドキ!

シジエカキタイム

ほかの人のこと
気配を感じるなあ...



ファシリテーターの6つの指示をよく聞いて絵を描きました。「しゃべらない」「そのぞかない」のルールを守って、ひとりで頑張りました!

グループ分け

目をつぶっている間に、一人ひとりの背中にシールを貼ってもらい、「しゃべらない」で、「自分では自分の印を確かめない」で同じ印の人とおしてグループをつくるゲームをしました。



どうやったらグループが
作れるかなあ?

グループで話し合い



分かれたグループで「絵を描いている時の気持ち」「絵を見せ合った感想」をみんなで話し合いました。この時のルールは「私はこう思う」という私を主語にして話すこと、みんなの意見を否定しないことです。

みんな違ってビックリ!!

発表&コメント

グループで話し合ったことをグループの代表が発表しました。発表が苦手なのは、他の人との意見の違いを恐れるから...でも「みんな違ってみんないい」なんです。勇気をもってみんな発表してくれました!



勇気をもって
発表できました!!

子どもたちの感想から

・みんなちがうところがあるので、まちがってもいい。はっぴょうは、はっぴょうでただでいい、ということをおしえてくれました。これからは、たくさん手をあげてはっぴょうしようとかんばりたいです。(小学校低学年)

・私は、話し合いをするのが、とても苦手でした。でも、この機会に話し合いを好きになろうと思い、思い切ってグループの人たちに発表しました。これからは、やったことがないものでも前向きにちょうせんしたいです。他にも、みんな考え方がちがうことやみんなちがうからおもしろいことなどとても大切なことを教えてくださいました。これからも、このことを思い出しながらすごします。(小学校高学年)

・私は最初白い紙と鉛筆だけで何をするのかとてもワクワクしたし不安でもあったけど実際にやってみると簡単なことだらけで、しかもそこから人権のことにつながったので驚きました。自分の利き手ではない手で自分の名前を書く活動は、思うよううまく書けなくて、他の人より下手だったらどうしようと恥ずかしくなったけど、初めてのことにチャレンジする時に、誰も最初から上手にできる人はいないという言葉聞いてすごく納得しました。また指示を聞いて絵を描く活動でもみんながみんな全く同じ絵を描いたらアイデアが1つしか出てこないから面白くないという発想も私にはなくてすごく新鮮でした。私もみんなに合わせようとせず、少しでも自分を主張できたら良いと思いました。そして何事にも恐れずチャレンジしてみようと思いました。(中学生)

先生方の感想から

「これからは討論ではなく、対話である。」という言葉が印象に残った。「A」か「B」のどちらかではなく、「A+B」で「C」を創り出していく世の中にしていかなければならないという説明は、とても実感できた。「ちがい」を認められる社会、お互いに「Eメッセージ」を送り合っていく社会を創り出す「教育」の重要性を認識することができた。



保護者・地域の方の感想から

難しい話があるのかとタイトルを見て思っていたのですが、今回はワークショップを通して“個を大切にすること”、“それぞれ違うということ”が理解できました。家に帰って子供と話してみようと思いましたが、地域の活動、PTA、職場でも役に立てていければと思いました。参加して良かったです。



コーディネーター 高崎 恵さんからのメッセージ

「子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業」もスタートから6年が経ちました。

この間、共に学んだ方々から寄せられた感想の数々を読み返すと、固定的な性別役割分担意識の見直しや、Eメッセージの大切さ等、多くの方が自身のこれまでの在り方を振り返りながら、これからのより良い自分、より良い社会に向けて“こう在りたい”と変化への意欲を綴って下さっていて、とても嬉しくなります。

一枚一枚の感想文に綴られたそれぞれの“こう在りたい”に向けて一人ひとりが動きはじめたことを想像するだけでワクワクするとともに、本事業の開催によって男女共同参画社会に向けて取り組む仲間が一人ずつ増えていくことに喜びを感じています。

これまでの9075人の方々との出会いに心から感謝しています！本当にありがとうございました！

男女共同参画の学びをより多くの方と共有するために来年度も本事業は続きます。

来年度の新しい出会いにワクワクしながら、日々学び続けてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ致します！



本事業への思い

この学びの広場推進事業は、児童・生徒のワークショップ、教職員セミナー、保護者・地域のワークショップの3つを必ずセットで実施します。各学校の御尽力により、地域コミュニティの会長や自治会長等、地域の中心を担っている方々にも御参加いただいています。また、当該市町村の教育委員会、男女共同参画担当課、県男女共同参画地域推進員の皆様にも参加・参観をお願いしています。これまで実施にあたり御協力いただいた多くの皆様

に厚くお礼申し上げます。本事業実施後、参加・参観した皆様から、「子どもの頃からの男女共同参画の学びは非常に大切だ！」「これから自分たちの地域でぜひ実践していかな」という感想を数多くいただいております。

この事業は、一学校の一イベントで終わるのではなく、この事業をきっかけに、子どもたち・先生方・保護者の方々の気づきと思いが学校全体に、そして地域全体に、そして市町村全体へと広がっていく、そのような男女共同参画社会実現に向けて動き出す起爆剤になればという思いを持って取り組んでいます。本事業は今後も続きます。この思いに賛同されるさらに多くの学校から御応募いただけることを願っています。

(学びの広場推進事業担当)

若年層への意識啓発

子どもの頃からの男女共同参画の学びの一環として、高校生や若年層への男女共同参画の推進、男女の人権を侵害するあらゆる暴力の根絶に向けた取組も実施しています。

学校への男女共同参画お届けセミナー

男女共同参画社会、DV・デートDVについての理解を深め、“男女共同参画社会実現への意欲”、“よりよいパートナーシップ”をもつことはこれから社会に出て行く高校生には極めて重要です。そこで、県内高等学校・特別支援学校の生徒、保護者、教職員を対象に講師を派遣する「学校への男女共同参画お届けセミナー」を実施しています。平成18年度から続けているこの事業は、今年度実施の20校を加えて、延べ124校になりました。高校生活3年間のうちに一度はこのようなセミナーを受けて社会に出てほしいという思いで毎年度実施しています。来年度も20校実施予定で、4月に希望校を募集します。学校関係の皆様積極的にお申し込みください。



12/16 高校生のためのピアサポーター養成講座

男女共同参画の推進やデートDV防止のための活動を行う高校生ピアサポーター(peer:同じ立場、同じ悩みをもつ仲間)を養成する講座を*かごしまピア研究会と協働で毎年実施しています。今年度は15人の高校生の参加があり、楽しく充実した講座になりました。

ピアについてよく知らなかったのですが、知ることができてよかったです。LGBTQについても知らなくて、とても勉強になりました。自分と向き合い人と向き合う上で大切な思いやりについて改めて考えることができました。周りの人に今回学んだことを伝えていきたいです。本当に楽しく充実した時間でした♪



*かごしまピア研究会:鹿児島大学医学部及び教育学部の学生「ピア☆びあ☆かごしま」のメンバーとピアカウンセラー養成者、「ピア☆びあ☆かごしま」OBの社会人などにより構成された研究会

3/2 「好き」をいいわけにしない! ～ 20代30代のためのデートDV防止セミナー

20代、30代を中心に、デートDV、DVの知識について学ぶとともに、「自分らしく、その人らしく生きる」ことのできるパートナーシップについて共に考えるセミナーを、昨年度に引き続き*かごしまピア研究会に実施していただきました。今年度は、志布志市との協働でコミュニティセンター志布志市文化会館で開催しました。37人の参加者には、色々なワークを通して、望ましいパートナーシップ等について楽しく学んでいただきました。

- ・デートDVから家庭内暴力に繋がると聞き、自分とよきパートナーシップを築ける人を選ぶべきだと感じた。DVかなと思ったらず相談したいと思います。
- ・グループワークを行うことで、自分自身のこととして考える時間になった。価値観を認め合うことができるコミュニケーションは生涯大切だと思います。



女性がいきいきと働くことができる鹿児島を目指して

県では、「県女性活躍推進計画」において2つの重点目標「働く女性が能力を發揮していきいきと活躍できる環境づくり」「男女がともに働きやすい環境づくり」を設定し、その達成に向けて次のような取組をしています。

女性活躍推進フォーラム ～女性が活躍する企業が成長する理由～

11/21

男性中心型労働慣行等の職場環境・企業風土を改善し、女性の活躍を推進するため、企業トップ等の意識改革を図るフォーラムを開催しました。



基調講演「女性が活躍する企業が成長する理由(わけ)」

講師 八木 洋介さん 前 株式会社LIXILグループ執行役員副社長人事総務・法務担当
株式会社people first代表取締役 / 株式会社ICMG取締役

講演では、生産性の低い日本の現実やダイバーシティが求められる背景、経営戦略としてのダイバーシティ、女性は技術に弱いなどのアンコンシャス・バイアス(無意識の偏見・無意識の思い込み)を排除することの必要性等についてお話いただき、情報交換会では各テーブルを回ってアドバイスをいただきました。

表彰式「女性活躍推進優良企業表彰式」

県では、女性の活躍推進に向けて、女性の管理職等への登用や能力開発、子育て支援、全社を挙げた職場風土に積極的に取り組み、女性が活躍している企業を表彰しています。表彰企業の皆様には、表彰式終了後、事例発表していただきました。

表彰企業 国立大学法人鹿児島大学、町田酒造株式会社(50音順)

女性活躍推進アドバイザー派遣

団体等が開催する定例会等に女性活躍推進アドバイザーを派遣しました。



講演では、女性活躍・イクメン・イクボスは3点セットであること、家庭のあり方や働き方の考え方が変わってきていることなど日本の社会が直面している大きな構造的変化について説明がありました。また、子育て中の女性などに対するキャリア支援のあり方、従業員の「幸福度」を上げることが生産性の向上につながるなど、そのために管理職がとるべき行動等について、具体例を交えて話がありました。

アドバイザー 安藤 哲也さん
NPO法人ファザリング・ジャパン代表理事
「Fathering＝父親であることを楽しもう」をモットーに、父親の意識改革やイクボスの普及に力を入れる。

派遣先

国立大学法人鹿児島大学
医療法人二三和会
日置市異業種交流懇話会

働く女性の異業種交流会「わたし活躍スイッチ！」

2/24

鹿児島の企業で働く女性の代表として県女性活躍推進会議の女性ワーキンググループのメンバーに加え、観光など多彩な分野で活躍する女性がロールモデルとなって登場し、自分らしい働き方について一緒に考えました。



女性ワーキンググループ活動報告の様子

グループトークの様子

学生のためのエンパワメントセミナー

～ワールド・カフェでこれからの生き方・働き方を考えよう～

2/13

固定的性別役割分担意識にとらわれず、男女ともに自らの個性と能力を發揮して主体的な生き方・働き方を選択できるようにしていくためのセミナーを鹿児島県立短期大学との共催で実施しました。

セミナーでは、固定的性別役割分業、無意識の偏見の解消、ダイバーシティ、ワーク・ライフ・バランスをキーワードとした男女共同参画に関する歴史的社会的背景や現状、これからは男女ともに4つの自立(経済的自立、生活自立、精神的自立、社会的自立)が必要なこと、パラレルキャリアが仕事を生み出すチャンスにつながるなどについてお話いただきました。

その後、参加者の好きなこと・得意なことを結びつけて「月3万円ビジネス」を考えるワークショップが行われました。

講師 萩原 なつ子さん
(立教大学大学院21世紀社会
デザイン研究科・教授)



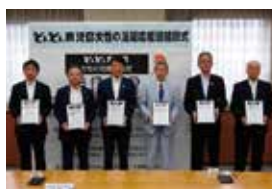
県内初 内閣総理大臣表彰を受賞

平成29年度に知事表彰を受賞した新日本科学が平成30年度「女性が輝く先進企業表彰」内閣総理大臣表彰を受賞しました。



どんどん鹿児島女性の活躍応援団

知事と鹿児島県女性活躍推進会議の経済5団体の代表者が一緒になって女性の活躍を推進することを表明しました。



応援団メンバー

- ・鹿児島県知事
- ・鹿児島県商工会議所連合会会長
- ・鹿児島県商工会連合会会長
- ・鹿児島県中小企業団体中央会会長
- ・鹿児島経済同友会代表幹事
- ・鹿児島県経営者協会会長

キャリアデザインセミナー

わたし×働くのこれからをデザインする3Days Vol.2

働き又は働こうとする女性を対象に、女性が将来のキャリアデザインを描き、意欲を持って就業できるよう、意識の向上やキャリアアップのための能力開発、ネットワークづくりの支援を行うためのセミナーをピア・スタディング、マルヤガーデンズとの協働で実施しました。

昨年に引き続き商業施設で開催したこともあり、定員を大きく上回る申込みがあり、関心の高さを感じるとともに、当センターを知らない方の参加にもつながりました。

1日目 基調講演「新しい生き方、働き方のヒントが見つかる～二極化時代の新提言」

1月27日公開講座 対象:どなたでも

講師 野村浩子さん(ジャーナリスト・淑徳大学教授、元「日経WOMAN」編集長)

3回連続講座の基調講演として、これまで5000人以上の働く女性の取材をしてこられた野村浩子さんに、自分らしいキャリア・デザインを実現するためのチャンスをつかむポイント、アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)に気づくこと、人生100年時代の複線的キャリアを意識することなどについてお話いただきました。



【質問された方へ野村浩子さんからのアドバイス】

- 心の声を聴く
「ねばならない」等の色々な鎧を脱ぎ捨てるのは大変なこと。そのときに、本当に自分がやりたかったことをなんだろうと心の声を聴いてみる。
- 離見の見(りけんけん)を持つ
挫折したり、うまくいかないときは「斜め上から見るもう一人の自分、第3の目」を持って、「(うまくいかずに)イライラしている自分」や「ここから読み取れること」を見てみる。

2日目 アサーティブ・トレーニング ～“わたし”を“わたし”の真ん中に～

2月3日 対象:女性

講師 高崎恵さん(アサーティブネストレーナー)

自分の気持ちに正直に向き合い、誠実に言葉にすることは、相手との対等な人間関係を築く上でとても大切なこと。2日目は、自分も他者も大切にできる“わたし”になるためのアサーティブ・コミュニケーションについて学びました。

3日目 Her Story Library ～彼女の物語を読み“わたし”の人生をデザインする～

2月17日 対象:女性

登壇者:鹿児島に暮らす5人の女性

「働く」ことを「私と社会の関係」という視点から振り返った女性たちの5つの“Her Story”を聴き、感じ考えたことを語り合いました。



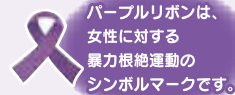
【受講された方の感想】「アンコンシャス・バイアスが自分や周りにもあるものだなと気づけて良かった」「気づきの多い3日間でした。悩んでいるのは一人ではないことも分かりましたし、社会の影響を受けていることがわかったことで悩みすぎる必要がないことに気づきました。」

相談室から

平成30年度女性に対する暴力をなくす運動

11月12日から11月25日は内閣府が主唱する「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。DVや性犯罪、ストーカー行為等といった女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するもので、決して許されるものではなく、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。

県では、女性に対する暴力の根絶を目指して、様々な取組を実施しました。



暴力防止街頭キャンペーン

11月12日(月)、鹿児島中央駅前で、女性に対する暴力をなくす運動啓発チラシや相談窓口カード等を配布しました。

参加者

国際ソロプチミスト鹿児島、同川内、同華南、同あいら、ガールスカウト鹿児島県連盟、ザ・ボディショップ、鹿児島市男女共同参画センター、県男女共同参画センターサポーター、鹿児島県



暴力被害者支援セミナー



11月28日(水)、神戸女子大学看護学部教授の下敷領須美子さんをお招きして暴力に対する正しい理解を深め、被害者を支援するためのセミナーを開催しました。

県民の皆様を対象とした講演では、「身近にある暴力に敏感になろう」と題して、性暴力やDVの本質と実態、その背景にあるジェンダーの問題について、わかりやすくお話いただきました。

講演後は、被害者支援に携わる方を対象に「暴力被害者の相談・支援の基礎」についてワークショップを行いました。相談対応の基本である「良き聴き手である」ために必要な「能動的な聴き方」について、グループワークやロールプレイを行い、傾聴、共感、受容の大切さを学びました。

パネル展示・パープルリボンツリー設置

かごしま県民交流センター2階と県庁18階においてパネル展示やパープルリボンツリーの設置を行いました。パープルリボンツリーには、女性に対する暴力がなくなるよう願いを込めて、多くの方々にリボンを結んでいただきました。また、パープルリボンツリーの設置には、企業にも御協力いただきました。



かごしま県民交流センター



山形屋



鹿児島銀行



マルヤガーデンズ

パープルライトアップ

女性に対する暴力根絶運動のシンボルマークであるパープルリボンにちなみ、観覧車「アミュラン」や甲突川橋梁(西田橋・高見橋)もライトアップされました。



アミュラン

西田橋

女性のための法律110番

11月21日(水)、女性に対する暴力や離婚にまつわる諸問題について、県弁護士会の女性弁護士による電話・面接による無料法律相談を実施しました。

ひとりで悩まず相談してください。

相談室では専任の相談員があなたとともに考え、あなた自身の力で問題解決に向かうお手伝いをします。

一般相談

- 【電話相談】099-221-6630・6631
- 〈受付時間〉水～日曜日/9:00～17:00
火曜日・休館日翌日/9:00～20:00
- 〈休館日〉月曜日(祝日の場合は翌日)
- 【面接相談】事前に予約が必要

専門相談

- 事前に予約が必要
- 【女性のための法律相談】(面接)原則第1・3火曜日
- 【メンタルヘルス相談】(面接)原則第3木曜日
- 【男性相談】(面接・電話)原則第2土曜日
(男性相談員による男性のための相談)

びあ・すてーしょん

鹿児島大学医学部保健学科サークル「ピア☆びあ☆かごしま」が、若者の男女交際の悩みやデートDV、性感染症等についての相談に応じています。

- 【日時】毎月第3土曜日 14:00～16:00
- 【場所】かごしま県民交流センター
1階会議室(売店前)

トピックス 男女共同参画地域推進員に新たな顔ぶれ

平成31年2月16日、市町村長の推薦を受けた14名の方が、新たに県知事から男女共同参画地域推進員の委嘱を受けました。これにより、4月1日に再委嘱される方と合わせて、総勢103名になります。

地域推進員は、県内各地で男女共同参画社会の形成に関する理解の浸透を図るため、地域の中で、男女共同参画に関する普及・啓発と情報提供、県や市町村が行う男女共同参画施策の推進への協力をはじめ、日々の「気づき」に立った様々な活動をボランティアで行っています。

委嘱式の後の連絡会議では、地域推進員と市町村担当者の約80名が参加し、ワークショップによる活動の振り返りなど、楽しく、活発な意見交換が行われました。

2019年度も地域推進員の皆様の活躍に大きな期待が寄せられています。



今回委嘱を受けた推進員の方々(前列)

2018年度 センター事業から

男女共同参画基礎講座・男女共同参画基礎講座地域版 6/9、10月

男女共同参画の基礎知識や男女共同参画の推進に必要な知識と手法を学ぶ講座を、たもつゆかりさん(オフィスピュア代表、県男女共同参画審議会会長)、高崎恵さん(オフィスピュア所属、ワークショップデザイナー)を講師に、かごしま県民交流センターと、鹿児島市以外の2か所で毎年実施しています。この講座は、鹿児島県における男女共同参画についての学習の場として「基幹的役割」を担っており、毎年、県内各地から多くの受講者が集い、この場からそれぞれの地域へと男女共同参画の「学習」と「実践」の循環の輪が広がっています。

今年は、基礎講座を6月2日、16日、23日、30日に実施し、基礎講座地域版を、鹿屋市(リナシティかのや9月22日、29日)と奄美市(大島支庁奄美会館10月20日、21日)で開催しました。3つの講座合わせて、延べ557人の方とともに男女共同参画について学ぶことができました。



相談業務研修会 6/8

佐賀県DV総合対策センター所長の原健一さんを講師に迎え、相談業務に携わる相談員や県・市町村の担当者を対象に研修会を開催しました。

講演では、「ジェンダー視点に立った相談対応とDV被害者支援について」と題して、DVの基本的な知識や子どもへの影響、被害者の心理や相談対応の方法、加害者の心理や対応の方法などについて、具体的にわかりやすく説明していただきました。

講演の後は、DV相談の事例についてグループワークを行い、時間の経過や相談者の状況の変化に伴い、その時点でどのような支援ができるかを具体的に検討し、アドバイスをいただきました。

参加者からは「DVについて基本的なことから学べて良かった」「具体的なケースについてグループワークすることで自分で考えることができた」との感想が寄せられました。



男性向けセミナー

「自分らしくしなやかに生きる」ためのヒント～心が折れない生き方 2/9

昨年度に引き続き、シニア産業カウンセラー、キャリアコンサルタントとして御活躍中の吉岡俊介さん(カウンセリウム「オフィスよしおか」経営(大阪市))を講師に迎え、今年は20～50代の男性を対象に「男の鎧」の背景やその解消法、ストレスとの付き合い方などについて参加者同士のワークを中心としたセミナーを実施しました。定員を上回る申込みがあり、参加者の様子やアンケート結果から、このような男性向けセミナーの必要性を再認識したところで、今後さらに充実したセミナーとなるよう工夫していきたいと考えています。



NPO共生・協働・かごしま推進事業 6～2月

男女共同参画センターでは、多様化・複雑化する地域課題の解決に向けた実践活動として、NPO法人や自治会等と協働で、男女共同参画の視点に立った地域づくりを行っています。

平成30年度は平成29年度に同様の取組を行った始良市のコミュニティメンターネットワーク等と協働で、薩摩川内市を実施地域とする「We Do! 私たち一人ひとりが大切にされるみんなでつくるみんなのための地域づくりパイロット事業」に取り組みました。

主な活動

- ・「一人ひとりの人権が尊重され誰もが出番と居場所がある地域コミュニティづくり講演会」の開催
- ・コミュニティメンター養成講座の開催(4回連続講座)
- ・年齢、性別などを問わない誰もが集い、語らえるみんなでつくる、みんなの居場所「つんつんカフェ」の設置(7回)
- ・みんなの出番と居場所のあるイベント「一人ひとりが大切にされるコミュニティ～みんなのフェスティバル～」の開催
- ・情報発信 等



2019
年度

鹿児島県 男女共同参画センター 事業予定

★は、民間団体との協働(共催)事業

意識啓発・人材の育成

男女共同参画基礎講座

男女共同参画についての基礎や身近なところで男女共同参画の理解を広めるための講座を開催します。また、3・4回目は、オプションプログラムも用意する予定です。

回	期 日	テーマ
1	6月1日(土)	男女共同参画についての基本的な考え方
2	6月15日(土)	社会開発と男女共同参画(ジェンダー平等) ～国際社会の動きを追って～
3	6月22日(土)	「私」を振り返り「私」に会おうワークショップ
4	6月29日(土)	男女共同参画の視点に立った地域コミュニティづくり

講師 たもつ ゆかりさん(オフィスピュア代表)
高崎 恵さん(ワークショップデザイナー)

時間 全講座/13:15～16:45
(オプションプログラム/10:30～12:00)

場所 かごしま県民交流センター

対象 原則、全回受講できる方(先着80名)

男女共同参画基礎講座 地域版

かごしま県民交流センター以外で男女共同参画についての基礎知識等を学ぶ2日間講座を開催します。

期間 8月～12月

場所 県内2地区

対象 地域の方々

★男女共同参画週間事業

県の男女共同参画週間(7月25日～7月31日)にちなみ、県民の方々に男女共同参画への関心や気づきを持っていただくための講演会やワークショップ等を開催します。

期間 7月25日(木)～7月31日(水)

場所 かごしま県民交流センター

男性への意識啓発

男性のための男女共同参画セミナー

男性の男女共同参画への正しい理解と職場や家庭における固定的性別役割分担意識の気づきと解消をめざしたセミナーを開催します。

期日 1月～2月

場所 かごしま県民交流センター

女性の活躍推進に向けた支援

女性のキャリアアップ支援事業

★キャリアデザインセミナー

若年層への意識啓発

子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業

子どもの頃から男女共同参画の理解を深めるために、学校でワークショップやセミナーを開催します。

期間 7月～12月

場所 小・中学校

対象 児童・生徒、教職員、保護者、地域の方々 等

また、新たな事業として実施決定校のある一市町村において、市町村教育委員会と協力した教職員向けの研修会を予定しています。

学校への男女共同参画お届けセミナー

高等学校等が開催する「男女共同参画」や「デートDVの防止」に関するセミナーに講師を派遣します。

期間 7月～2月

場所 高等学校等20校

対象 生徒、教職員、保護者

★高校生のための「ピアサポーター」養成講座

大学の学生サークルが、若者による若者のための暴力未然防止の活動として、悩みや問題を抱える同年代をサポートできる高校生の養成講座を開催します。

期日 12月頃

場所 かごしま県民交流センター

対象 高校生

★デートDV防止セミナー

デートDV防止の講演やコミュニケーション能力を向上させるためのワークショップ等を開催します。

期日 1月～3月

女性に対する暴力の防止・被害者支援

相談業務研修会

支援に必要な知識の習得と相談対応のスキルアップを図るための研修会を開催します。

期日 6月

場所 かごしま県民交流センター

対象 相談業務に係わる相談員、担当者等

暴力被害者支援セミナー

DVや性暴力の本質を理解し、被害者支援に必要な対応について学ぶセミナーを開催します。

期日 11月

場所 かごしま県民交流センター

対象 県民の方、暴力被害者支援に係わる方、行政担当者等

女性に対する暴力防止キャンペーン

「女性に対する暴力をなくす運動」期間(11/12～11/25)に、民間団体や関係機関と協働で街頭キャンペーン等を実施します。

★街頭キャンペーン

期日 11月12日(火)

場所 鹿児島中央駅前

○アミュランのパープルライトアップ

○女性のための法律110番(女性弁護士による無料相談)

○パネル展

グループ紹介 **さんかくしかく座**

平成18年度のセンターサポーター養成講座(鹿児島県男女共同参画センター)を終了したメンバーを中心に、入れ替わりはありつつも、県内各地から個性豊かな11人のメンバーが参加しています。

県週間事業でのワークショップをきっかけに、鹿児島市のサンエール(鹿児島市男女共同参画センター)で市民企画事業や市民講座の講師を引き受け、「55歳からのハローライフ」「LGBTって何だろう?」「子ども食堂とは?」「一汁一菜という提案」「ママでもパパでもない時間」など、テーマを決めて、私たちが持つ縛り・差別などがその人自身を苦しめていること、自分を受け入れることってどういうことなのか、それを実感してもらうために、楽しい仕掛けをして、男女共同参画の入り口のとびらへ誘う案内をしてきました。今年4月でまる12年になります。

年齢も職業もバラバラ、背景もあまり知らない、でもしがらみを気にせず語り合えるのが、さんかくしかく座の良さ。メンバー同士が共有する大切なことは、緩やかにつながりながら、少しずつ、学びを深めていくこと、お互いをありのままに認め合うこと。



月1回の定例会や不定期の学習会は、昨今の児童虐待や子どもの貧困、女性活躍の陰に置き去りになりそうな、家事育児の分担問題、性的マイノリティ、セクシャルハラスメントや性暴力など、次々に出てくる社会の矛盾に対し、自由な意見を交わしあいます。

まずは、自分たちが常識の中のおかしさを「学び落とし」、新しい自分を発見することで、生きることが楽になっていくことを実感しつつ、いろんな人たちに「力を取り戻してもらう」活動を誇らしく思いながら、ゆるく、楽しく活動を続けています。

新着図書情報

※新着図書一覧はセンターのホームページに掲載中です。

WORK DESIGN

行動経済学でジェンダー格差を克服する



イリス・ボネット著
NTT出版(2018年8月)

女性の社会進出は進んだが、男女の賃金格差などジェンダーにもとづく格差は根強い。その大きな要因として本書で取り上げられている「無意識の偏見」(アンコンシャス・バイアス)は、平成30年度に当センターが開催した講演会等でも指摘されています。

本書では、ハーバード大学の人気行動経済学者が私たちの意識や行動を決定づけるバイアスの存在を科学的に明らかにし、「行動デザイン」の手法でジェンダー・ギャップ問題のエビデンスに基づく具体的な解決策を提示。日本でも急ピッチで進められている「女性活躍推進」や「働き方改革」にも役立つ一冊。

※このほか約50冊の新着図書がありますので、6階情報サロンにお気軽にお越しください。

ハートウッドホテル1

ねずみのモナと秘密のドア

嵐の中でひとりぼっちのモナが見つけたのは、両親の形見のカバンと同じハートマークを持つハートウッドホテル…。

ホテルで見習いとして働きはじめたモナは、はじめてのコミュニティの中で関係の築き方にとまどったり、個性的な動物のお客様とのかわりの中で試行錯誤しながらも自分の居場所を見つけていきます。

様々な動物がとまるホテルの動物の特性に応じた客室の描写も楽しめる一冊。

なお、翻訳者の久保陽子さんは鹿児島県のご出身です。



ケイリー・ジョージ作・久保陽子翻訳
童心社(2018年10月)

男女共同参画センター関連のご案内

【図書等の閲覧・貸出】

かごしま県民交流センター6階情報サロンには男女共同参画に関する約2,000冊の書籍があります。

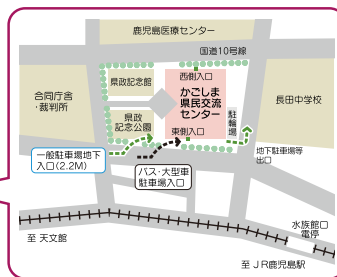
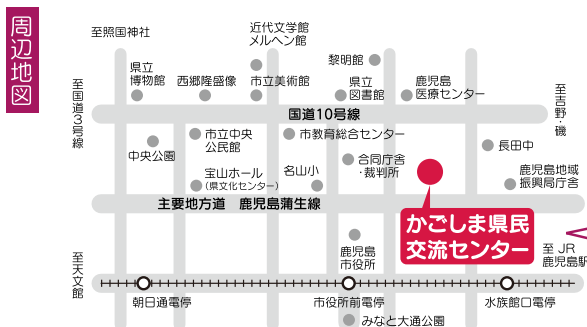
閲覧のほか、1人5冊まで3週間の期間で貸出ができますので、是非ご利用ください。

【啓発パネル・DVD等の貸出】

学校、事業所、市町村、男女共同参画を推進する民間団体等に貸出も行っています。

内容等詳細は、ホームページを御覧ください。

(注) 書籍の貸出には、「かごしま県民交流センター情報システム利用者カード」が必要です。カードをお持ちでない方は当日中に作成できますので、身分証明書(運転免許証・健康保険証・学生証等)を持って2階事務室にお越しください。



交通案内

「JR利用」または「市電・バス」

- 【鹿児島駅】 徒歩約10分
- 【市役所前】 下車徒歩約5分
- 【水族館口】 下車徒歩約5分

駐車場

約450台収容 150円/30分
※センター利用者は2時間まで無料。
総合案内等で2時間無料の認証を受けてください。



鹿児島県男女共同参画センター

(かごしま県民交流センター内) 〒892-0816 鹿児島市山下町 14-50

●「男女共同参画センターだより」の掲載記事(バックナンバーを含む)は、ホームページにも掲載しています。

TEL 099-221-6603

FAX 099-221-6640

電子メール p-harmony@pref.kagoshima.lg.jp

ホームページ <http://www.kagoshima-pac.jp>

